ふれあいネットワーク

社協シンボルマーク

曽於市社会福祉協議会情報紙

第86号

令和５年２月15日

手と手

やさしさ100パーセント

今号の表紙絵

財部町
東杢比野　憲一さんの作品

題名「**冬の景色**」

自然の木々がたくましい寒さに耐え忍んで明るさに照らす、陽の光を見つめている様を描かれています。

理念　**人と人とのつながりを大切に**
地域と共に歩む

発行／社会福祉法人 曽於市社会福祉協議会
曽於市財部町南俣504番地1（財部保健福祉センター内）
TEL：0986-72-0460･0480　FAX：0986-72-0425
E-mail：sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL：http://soo-shakyo.or.jp/

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会会費・赤い羽根共同募金を財源に発行しています。

新年の挨拶

社会福祉法人曽於市社会福祉協議会　会長
山本　ひとみ

早一か月も過ぎましたが
令和五年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます
この一年が皆様にとりまして良き年となりますよう
心よりお祈り申し上げます

長期化するコロナ禍にあって物価高騰なども重なり多くの世帯が生活に困窮し、孤独・孤立の問題も深刻化している厳しい状況が続いています。

また、少子高齢化が加速する中、高齢者･ひとり世帯の増加、認知症や子育てに悩む世帯など、さまざまな課題が顕在化しています。

このような地域の生活課題に対して、地域住民が相手の抱える困難や痛みを想像し共感できる福祉の心を育み、そして、お互いの人格と個性を尊重しあい、一人ひとりがその人らしく安心して生活することができるよう支え合いのしくみのある地域づくりを実現することが重要です。

コロナと共存する新しい生活様式に伴う課題への対応ができるよう、社協事業の転換を図りながら、「人と人とのつながりを大切に　地域と共に歩む」の理念のもと、本年も地域の皆様をはじめ多様な組織、関係者とのネットワークを活かし、包括的な支援体制を構築するため「連携･協働の場」として、本会の役割を果たし様々な取組みを積極的に進めてまいります。

今年もまた、引き続ご支援とご協力をお願い申し上げます。

曽於市民児協より

民生委員児童委員の一斉改選について
曽於市民生委員児童委員協議会連合会について

令和 4 年 12 月 1 日(木)　曽於市民生委員･児童委員委嘱状交付式が末吉総合センターにて行われました。この度の一斉改選において民生委員 46 名、主任児童委員 3 名、合計 49 名が退任され、再任として民生委員・児童委員が 59 名、主任児童委員が 3 名、新任として民生委員・児童委員が 40 名、主任児童委員が 2 名委嘱されました。

そして、新たに曽於市民生委員児童委員協議会連合会 会長に**堀内哲郎氏（末吉地区民児協会長）**、副会長に**鎌原輝夫氏（財部地区民児協会長）**、**小川原俊昭氏（大隅地区民児協会長）**が就任いたしました。

※曽於市社会福祉協議会は、民児協事務局を担っています。

ほりうち　てつろう
堀内　哲郎　会長

かまはら　てるお
鎌原　輝夫　副会長

こがはら　としあき
小川原　俊昭　副会長

ふくしをまなぶ

大隅北小学校６年生の総合の授業「夢かなえたまえ～地域の方のお仕事を知ろう～」に小規模多機能ホームより愛さかもととグループホームあがいやんせの方々に、福祉の仕事を始めるきっかけややりがい、言葉の掛け方・寄り添い方について話をしてもらいました。児童の皆さんはしっかり受け止めて、自分の考えを私たちに伝えてくれました。一部要約しましたが、児童の皆さんの感想です。

車椅子は、高齢者は自分の力では動かせないときがあるかもしれないので、**そういう時は私が押してあげたいです**

立ってあいさつする事と座って**同じ目線になってあいさつする事**とでは全然気持ちが違って、**目を合わせた方が気持ちがいい感じ**だったので、毎日あいさつするときには目を合わせてあいさつしようと思いました

介護というのは当たり前の生活をするための見守り声掛けで、やる気になったり、できない事が出来たり、思い出すことにもつながっていくのだと知ることができました

認知症の人は忘れることがあって不安になることがあるから、**否定するんじゃなくてその人に合わせてするのがいいんだなと学びました**

介護は日常でお世話をするときに役立つと思います。**一人一人に寄り添ってそれぞれにしたいことを考えて**お世話を頑張ります

私には認知症のおばあちゃんがいます。話すときには**おばあちゃんの想いを尊重し、やさしい気持ちで、どんな話でも受け入れて対応しようと思いました。**

クリスマス青空市
Christmas Aozoraichi

令和4年12月10日（土）の大隅町坂元のおろん広場で**クリスマス青空市**が開催されました。主催する「**おろんの会**」は、隣近所の絆を大事にする地域にしたいという仲間の集まりで、地域住民の交流、憩いの場を作ろうと様々な活動に取り組んでいます。

コロナ禍で2年ぶりとなった市場は晴天に恵まれ、たくさんの地域の方で大盛況となりました。

本会小規模多機能ホーム**より愛さかもと**も利用者様と市場に参加させていただき、利用者様にこんにゃくなどの料理や販売を担当していただきました。地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、介護予防に取り組み、利用者様の自宅での暮らしを支援していきます。

曽於市社会福祉協議会は、おろんの会のように、地域住民が安心して生活できるよう、地域貢献活動や生き甲斐づくり、世代間交流などの推進に取り組む団体を支援してまいります。

みんなで始めよう！体操教室

体操教室連絡会　12月9日
そお生きいき健康センター

市役所福祉介護課地域支援係　宮原氏から体力測定の結果分析の報告と表彰がありました。その後、3か所の体操教室の活動報告をうけ、代表者の皆さんがグループごとに情報交換を行いました。

「自分だけでなく、**地域みんなで元気になるという意識が参加者全員で共有できている。**」

「自分の自治会だけでなく、近くの方と知り合いになりたい、地域のことをよく知りたい。」

「私が楽しい。この気持ちが周りの人にも伝わっていくといいな。負担をなくして参加しやすくし、みんなのアイデアを集めて楽しんで続けています。」などの声をいただけました。

共に地域に目を向け考える

校区・地区公民館長等及び校区社会福祉協議会会長合同連絡会　11月4日、7日

連絡会では、住民や関係団体等が共に進める地域づくりについて、その手法の一つである支え合いマップの実践を通じて考える機会としました。鹿児島県社会福祉協議会地域福祉部の東平氏に「**支え合いマップづくりのイロハ**」と題して、住民同士の支え合いである共助の必要性と皆で地域に目を向け考える場となる支え合いマップづくりについて講話をいただき、実際にマップづくりを体験しました。地図を使って地域のことを語り合うことで、地域のことを見える化し、それを皆で共有しながら一緒に考えることができるのが支え合いマップです。校区社会福祉協議会では、支え合いマップを活用した地域づくりにも取り組んでいます。地域の皆様のご参加とご協力をよろしくお願いします。支え合いマップについて詳しく聞きたい方はご連絡ください。

ちいきのうごき

自分たちの住むまちを、自分たちの手で住み続けられるように

ほっとサービス協力会員連絡会　11月25日　そお生きいき健康センター

NPO法人かごしまメンタルパートナー協会 江並 智子氏より「聴き方スキルアップ講座～相手がほっとする♪聴き上手になる～」と題して講演をいただきました。

傾聴には、「コミュニケーションが良好になる、信頼関係ができる、心を癒す、気持ちを楽にさせる、考えていることを整理できる」などの効果があります。支援者として大切な傾聴について、視点や姿勢など体験を交えながら学ばせていただきました。

ほっとサービスは、住民同士の助け合いの地域福祉活動です。これまでも買い物の代行や通院の付き添いなど、生活上の困りごとの支援を行っています。住民が主体となった地域福祉活動だからこそ、制度では対応が困難な生活課題への柔軟な支援をすることができます。今後もサービスの啓発を図りながら、地域の助け合いの醸成に取り組んでまいります。

「幸せ」について考える

小学生向け ふくしワークショップ

1月15日、22日、29日

大隅弥五郎伝説の里、そお生きいき健康センター、財部保健福祉センターにおいて、赤い羽根共同募金助成金を財源とした小学生向けのふくしワークショップを開催しました。

多くの小学生と保護者の方が参加されました。

ふくしの学びでは、「ふくしとおもいやり」、「赤い羽根共同募金」について学び、自分の幸せ・みんなが幸せであることについて、みんなで考えました。

自分の幸せは、「当たり前のようにいつもできること」、「友達と遊べること」、みんなが幸せであることについては、「話し合ったり、ふれあったりして仲良くなる」「ありがとうと伝える」「助け合う」など、みんなの思いやりがとても感じられました。

今後も、『ⓕだんの ⓚらしの ⓢあわせ』を一緒に考えていく活動を行っていきます。

ちいきのうごき

城山いきいきサロン（財部地域）
代表　大重さとみ

＼いつまでも元気でいれるように！／

城山いきいきサロンは、城山高齢者学級からの引継ぎのサロンで、10年くらいになります。

現在、60～90代の男女10人程度で、月1回城山公民館で活動しています。コロナ前は、毎年1回、日帰り研修で、曽於市内、SL見学で熊本、桜島等に行っていました。サロンでは、脳トレ、ストレッチ、茶話会そして、最後にみんなで食事をしています。忘年会・クリスマス会、新年会の行事も行っています。

少ない人数だけど、笑いがたえず、みんなが楽しんで来てくれます。

これからも楽しく、続けていけたらと思っています。

地域交流を通じた相互理解と地域参加を

ふれあいマルシェ　12月18日　Aコープ末吉店

赤い羽根共同募金助成金を財源とした、**市内の障がい福祉団体と協働の「ふれあいマルシェ」**をAコープ末吉店で行いました。
これは、地域で生活されている障がい者が、地域の一員としてその人らしく安心して暮らせる地域共生社会を目指して、事業所で作っている加工品などの販売等を通じて、障がい者及び事業所の地域参加を促進し、交流を通じて地域との相互理解を図ることを目的とした活動です。
今回は、のどか園、大隅シオン舎の2団体が出店され、非常に寒い中ではありましたが、たくさんの方に足を運んでいただき交流を図ることができました。参加いただいた団体、お越しいただいた皆様、そして、当日もたくさんのご配慮をいただきマルシェの実施にご協力いただいた店舗に感謝申し上げます。
今後も皆様から寄せられた募金が使われていることが目に見えるように努めると共に、各種福祉団体等との連携強化を図りながら活動に取り組んでまいります。

ちいきのうごき

22名の受講生が修了

手話奉仕員養成講習会（入門課程）　11月30日　財部保健福祉センター

令和2年度に開講し、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて延期を重ねながら行ってきました**手話奉仕員養成講習会（入門課程）**が11月30日に最後の講義を終え、閉講を迎えました。
この講習会は、手話が言語であるとの認識に基づき、手話に対する理解の促進及び手話の習得により、聴覚障がい者が生活しやすい社会の実現に寄与することを目的に令和2年4月1日に曽於市に手話言語条例が制定されたことに伴って開講しました。
今回、**22名の受講生が修了し**、閉講式で笠野福祉介護課長から修了証の授与が行われました。新年度から基礎課程の講習会を開講する予定です。修了者の方々がたくさん受講されることを願っています。また、新たに入門課程も開講する予定ですので、手話言語に関心のある方、聴覚に障がいがある方の支援活動をしたい方など、受講生の募集の際は、お申込みください。
本会では、年齢や障がいの有無等に関わらず、地域で生活する一人ひとりが安心して日常生活を送ることができる地域づくりを推進しています。皆様の参加、協力をよろしくお願いします。

曽於市生活相談支援センターより

このセンターは「生活困窮者自立支援法」に基づく相談窓口です

「暮らし」や「仕事」、「家計」のことで困ったら…

＼私たちがサポートします／

主任相談支援員	相談支援員兼就労支援員 兼家計相談支援員	相談支援員	相談支援員
井之元	渡邉	池之上	川畑

曽於市生活相談支援センターは、令和４年４月１日に曽於市から事業を受託しています。
生活の不安や悩みを抱えている方からの相談を受け一緒に考え、解決に向けて支援を行う場所になります。

相談窓口　そお生きいき健康センター内（曽於市末吉町二之方 2342 番地 2）
TEL：**0986-57-1750**

相談時間　月曜日～金曜日　８時３０分から１７時１５分まで
（土日、祝日、年末年始を除く）

相談無料
秘密厳守

第 18 回　曽於市社会福祉大会

福祉作文 2022

84 号の情報紙では最優秀賞の柳迫小学校6年生 西元　愛花さんの作品を紹介させていただきました。優秀賞の作品は本会ホームページに掲載しておりますので、ぜひ心温まる作文を下記の QR コードからご覧ください。

掲載優秀賞作品一覧

学校名	学年	氏名	作品名
財部小学校	6 年	長瀬（ながせ）　拓己（たくみ）	いつも心にバリアフリー
深川小学校	6 年	宮囿（みやぞの）　宏樹（ひろき）	思いやり
橲小学校	3 年	椎屋（しいや）　諒亮（りょうすけ）	「思いやり」ってなんだろう
光神小学校	6 年	郡山（こおりやま）　愛優（あゆ）	強要される思いやり？
月野小学校	5 年	上村（かみむら）　桜太（おうた）	後かいするくらいなら

権利擁護センターより 令和４年度市民向け権利擁護講座

知ろう！学ぼう！
みんなで考える権利擁護

曽於市社会福祉協議会権利擁護センターでは、はじめて市民向け権利擁護講座を 12 月～１月にかけて４回シリーズで開催しました。 多くの市民の皆様に関心を寄せていただき、ご参加いただきました。今後も“権利擁護”について理解を深めていただく機会を増やしていきます。

地域で暮らす障がい者の権利擁護

そお地区障がい者等基幹相談支援センターの方々よりセンターの役割やピアサポーターの体験談を交えて当事者の立場から障がい者の方々が安心して暮らせる地域についてそれぞれの想いをお話いただきました。

詐欺に騙されないために

曽於市消費生活センターよりセンターの役割や消費者被害を防ぐためのアドバイスやクーリング・オフ制度について相談事例を交えながらお話いただきました。

曽於市の権利擁護支援について

曽於市社会福祉協議会権利擁護センターより「成年後見制度」と「福祉サービス利用支援事業」について、どんな人が使えるのか、どんなことをしているのかをお話をさせていただきました。

はじめよう！終活！
エンディングノートの活用について

今年度、 曽於市ではエンディングノートを作成しました。 作成にあたりご協力いただいた株式会社鎌倉新書よりオンラインで終活セミナーを実施していただきました。

地域で暮らす高齢者の権利擁護

曽於市地域包括支援センターよりセンターの役割や権利擁護業務の現状と高齢者虐待について事例を交えながらお話いただきました。

地域で支えるしくみについて

社協ってどんな組織？地域住民と一緒に取り組むしくみづくりってどんなことをしているの？という社協の役割や地域で支え合うことの大切さ、 曽於市社協が地域と取組む事業のご紹介をさせていただきました。

曽於市地域包括支援センターより

TEL：0986-76-8824

曽於市における防災対策について研修を実施

地域包括支援センターでは、月１回、地域の介護支援専門員を対象に、地域とのネットワークの構築やスキルアップを目的に研修を開催しています。

11 月は「曽於市における防災対策」をテーマに、市役所の新庁舎にある防災対策室にて研修会を開催。総務課危機管理室室長の栫井秀和氏より、曽於市の情報伝達の手段や避難所情報等についてお話していただき、災害時においては日頃の備え「自助」、地域の支えあい「共助」、自治体でやるべきハード面の備え「公助」が必要であることを改めて学びました。介護支援専門員には、地域の高齢者の生活を守る役割があり、災害時の対応についても確認しておくことが求められています。これからも市の防災担当者とも連携を図りながら、防災に対する意識を高めていきたいと思います。

ひだまりカフェ（脳血管疾患当事者の会）を開催

令和４年４月から始まり、参加してくださる方も毎回、少しずつ増えてきて、当事者の方やボランティアの方、企画委員も含め、15～18 名の方が参加してくださっています。

10 月にはパラリンピックの正式種目にもなった「ボッチャ」を行いました。12 月には、ボランティアの方に来ていただいて、「笑いヨガ」や「ミニコンサート」を楽しみました。

今後も、参加者みんなでやりたいことを話し合い、楽しいことや学びになることを企画してく予定です。また、大隅以外での開催も検討中です。

毎回、リハビリや福祉の専門職も参加していますので、困りごとの相談もできます。ご興味のある方、参加ご希望の方は地域包括支援センターまでお気軽にご連絡ください。

開催日	偶数月の第３水曜日
場　所	大隅弥五郎伝説の里ふれあい館内
連絡先	曽於市地域包括支援センター　坂元、永山、竹内
ＴＥＬ	**0986-76-8824**

やさしいスマホ講座

スマートフォンで便利な機能やLINEについて勉強してみませんか？初めての方にもおすすめのやさしい講座です。

日時｜**令和５年３月17日（金）　10：00～11：30**
会場｜財部保健福祉センター
講師｜曽於市社会福祉協議会職員、学生ボランティア
定員｜１５名　　先着順
対象｜スマートフォンを持ってる曽於市在住・在勤の方
受講料｜無料
持ち物｜個人所有のスマートフォン、筆記用具

お問合せ先
曽於市社会福祉協議会　TEL：0986-72-0460

※申込書については、曽於市社会福祉協議会本所・支所の窓口で受け取るか、ホームページ上から印刷してください。

令和５年度情報紙モニター募集

本会では、地域の皆さまへの福祉の情報発信と啓発を目的に、年４回情報紙の発行をしています。令和５年度情報紙モニターとして、アンケートにご意見をいただける方を募集します。
詳しくはお問い合わせください。

お問合せ先
曽於市社会福祉協議会
担当　総務課　福満
TEL：0986-72-0460

心配ごと相談所開設について

日常生活のことで、お困りのことがありませんか？心配ごと相談員や社会福祉協議会職員が対応いたします。

開催日時 ／ 会場	**２月23日（木）**	**３月23日（木）** 9：30～12：00
財部保健福祉センター	**祝日のため開設はありません**	**橋本** 相談員
そお生きいき健康センター		**原田** 相談員
大隅弥五郎伝説の里		**中原** 相談員

心配ごと相談所開設事業は、令和５年３月末をもって、終了いたします。日常生活上の困りごとや心配ごとの相談は引き続き社会福祉協議会職員が対応してまいりますので、ご遠慮なくご相談ください。

無料法律相談開設について

ひまわりの会による無料法律相談

○相談料：無料(相談者からはいただいておりません)
※1回につき相談時間は30分以内
○申込・受付方法：事前に予約が必要です。
○お問合せ先：
ひまわりの会　事務局　代表弁護士　山口　政幸
鹿児島市山下町12番17号2階
TEL：**099-227-0041**(受付：平日9時～17時)

○相談日時及び会場：

会場	相談日時
財部保健福祉センター	**４月20日**（13時から16時まで）
そお生きいき健康センター	**２月16日**（13時から16時まで）
大隅弥五郎伝説の里	**３月16日**（13時から16時まで）

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談料：無料(相談者からはいただいておりません)
※1回につき相談時間は30分以内
○申込・受付方法：先着順、事前電話予約可
○お問合せ先：
弁護士法人 大隅広域ディフェンダー
藤尾法律事務所 末吉支所
曽於市末吉町本町1-4-5　TEL：**0986-51-9830**

○相談日時及び会場：

会場	相談日時
財部保健福祉センター	**3月14日、4月11日、5月9日**（13時から15時まで）
大隅弥五郎伝説の里	**2月21日、4月18日、5月16日**（18時から20時まで）

たくさんの善意に感謝いたします

曽於市社会福祉協議会では、ご寄付を曽於市民の皆様の地域福祉向上のために大切に使わせていただきます。
なお、本紙への掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。

香典返し寄付金（敬称略）

（令和4年11月1日～令和５年1月31日）

財部地区

川　添　トシ子　　堤
鬼　丸　イマエ　　七　　村
坂　元　俊一郎　　町
徳　丸　ノブ子　　下　谷　川　内
吉　松　輝　文　　下　大　川　原

末吉地区

安　田　節　子　　中　法　楽　寺
東　　望　　富　　田
宮　田　生　司　　坂　　元
重　信　奈保美　　西　中　野
富　窪　陽一郎
松　尾　美代子　　松　　尾
永　窪　俊　和　　蔵　之　町
匿名　１件

大隅地区

田　中　　悟　　東桜ヶ丘
八　木　和　子　　梶　ケ　野
永　田　榮　子　　東旭ヶ丘
松　山　ミ　代　　東　飯　田
海老原　重　利　　上　森　園
園　田　健一郎　　新　　城
東　　千代子　　あけぼの
宮　内　初　子　　梶　ケ　野
小　倉　鈴　子　　新　坂　元

一般寄付金品（敬称略）

（令和4年11月1日～令和５年1月31日）

末吉地区

北部地区公民館
村　山　勝　幸　　村　　山
村　山　澄　子　　村　　山
西　村　睦　子

大隅地区

匿名　１件

曽於市社会福祉協議会は税額控除対象法人の証明を受けています。

本会への寄付(一般寄付、香典返し等)は、現行の所得控除制度に加え、**税額控除制度**との選択が可能です。**税額控除**では、税率に関係なく税額から税額控除額を直接差し引きます。
小口の寄付にも**減税効果が大きく**、所得控除と比較してほとんどの場合、税額控除の方が減税効果が大きくなります。

社協公式 SNS

地域福祉の様々な情報をお届け！

公式 LINE　Instagram

インスタグラム開設しました

ご意見をお寄せください

曽於市社協情報紙へのご意見窓口を開設しています
ぜひご意見をお寄せください。

職員より

年が明けて早くも１カ月が過ぎました。私事ですが、この春、長男が高校を卒業し、我が家から巣立っていく予定です。
家族５人での生活が当たり前だった日常から、初めての旅立ち。本人以上に不安な私ですが、自分の旅立ちの時も両親はこんな気持ちだったんだろうかと、同じ立場になって改めて感じる日々…年齢を重ねても、公私ともに、その時々で新たに感じ、考えること多々あります。「人生とは…」という名言がたくさんありますが、人生とは日々学びである。まずは、１日１日を大切に、自分らしく過ごしていきたいと思います。
本年もよろしくお願いいたします。　　R.Y